

取扱説明書

オイルディスペンサー
ODS-60 MODEL No.880732



警告

安全のため、本製品のご使用前には必ずこの取扱説明書を熟読し、記載されている重要警告事項をよく理解してください。
また、本取扱説明書をいつでも使用できるよう大切に保管してください。

YAMADA CORPORATION

－ はじめに

本書は、お使いになる本製品が故障なく十分に皆様のお役に立ちますことを念願として、正しい使用方法とご使用上の注意について説明したものです。この説明書を読む前に本製品の操作を行わないでください。特に、注意事項を熟読されると共に、常に手元においてご活用ください。なお、ご使用中に不明な点、不具合などありましたら、お買い上げの販売店、または裏面記載の弊社営業所までご連絡ください。

－ 使用目的

本機は手動式のオイルポンプに代わるものとして開発された、エンジンオイル、ギヤオイルなどの第四石油類専用、ドラム缶用のエア駆動ポンプです。エアバルブの操作で簡単に必要量のオイルを小分けすることができ、漏電・発熱などによる火災の心配もありません。

－ 警告・注意事項

本機を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

本書では、警告・注意事項を絵によって表示しています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき操作を行う方や周囲にいる方々に加えられる恐れのある人身事故や、周囲にある物品への損害を未然に防止するための目印となるものです。その表示と意味は次のようになっています。内容をご理解いただくようによくお読みください。



警告： この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。



注意： この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容を示すために、上記の表示とともに以下の絵表示を使用しています。



この表示は、してはいけない行為（禁止事項）であることをあらわしています。表示の脇には具体的な禁止内容が示されています。



この表示は、必ずしたがっていただく内容であることをあらわしています。表示の脇には具体的な指示内容が示されています。

－ 使用上の注意

下記の警告・注意事項は大変重要ですので、必ず守ってください。

 警告	
	－ 本機は、ガソリン、灯油、軽油、その他薬品・溶剤などには使用できません。ガソリンは高揮発性の燃料です。ポンプの洗浄などには絶対に使用しないでください。引火・爆発の恐れがあります。
	－ 使用の際、静電気のスパークによって人体がショックを受けたり、火災・爆発に伴う人身事故が発生することがあります。必ずアース線により使用環境に従いアースを確実に実施してください。
	－ 使用するオイルによっては、皮膚などに炎症を起こす危険があります。オイルメーカーの取扱注意事項を熟読し、注意して取扱ってください。

注意



- ポンプの空運転は行わないでください。空運転はポンプの寿命に悪影響を与えます。



- ポンプの改造は絶対に行わないでください。改造すると、人身事故や故障を生じる恐れがあります。



- 本機の最高エア圧力は 0.7MPa です。これ以上の圧力での使用は、破損などによる人身事故・物的損害事故を招くことがあります。必ずレギュレーターによって 0.7MPa 以下に調整してください。



- 作業終了後、または夜間・休日など長時間使用しない場合は、必ず本機の供給エアを切り、吐出口のバルブを開き、ポンプ・ホース内の圧力を抜いておいてください。供給エアを入れっぱなしで、パッキン・ホース類の損耗によりポンプが作動し、施設を汚染させるなど二次災害については使用者側の責任になります。



- 作業中及び移動を完了した本機の設置時は、必ずキャスターブレーキをロックしてください。機器の転倒により施設を汚染させることがあります。



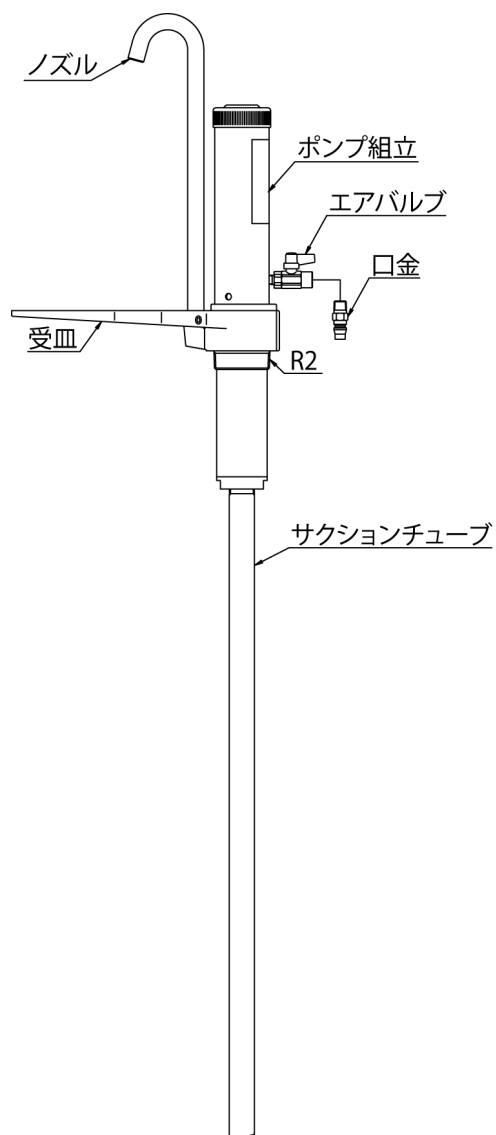
- メンテナンスなどで部品を交換する際は、必ず供給エアを停止してから行ってください。エアを切らずに行った場合、誤動作により指を挟むなどの事故を起こす場合があります。

目次

- はじめに	
- 使用目的	
- 警告・注意事項	
- 使用上の注意	
- 目次	
1. 各部の名称	
1.1 各部名称	1
1.2 梱包内容	1
2. 使用前の準備	2
3. 使用方法	2
4. 保守・点検	
4.1 故障の点検とその対策	3
4.2 保守・点検	3
5. 分解・組立	4
6. 部品分解図・パーツリスト	5
7. 主要諸元	
7.1 仕様	6
8. 不具合内容 FAX シート	7
9. 保証規定	8

1. 各部の名称

1.1 各部名称



1.2 梱包内容

本機は、段ボールケースに主機器と付属品など（受皿ボディ、ノズル＋シボリ、サクシオンチューブ、エアバルブ、口金）が個別に梱包されています。

段ボールケースの上部を開梱し、ポンプ組立の損傷、並びに付属品などの有無を確認してください。

2. 使用前の準備

- 1) 受皿をドラムの 2B バングにねじ込んでください。(Fig.1)
- 2) 付属のノズルを受皿のオイル出口にねじ込んでください。(Fig.1)

 注意	
	- 受皿にシボリが付属に付いています。粘度の低いオイル、または夏期においてオイル粘度が低い時はポンプスピードが上がリ、吐出時にオイルがはねる場合があります。この時シボリを受皿オイル出口に挿入してノズルをセットしてください。(Fig.2)

- 3) 受皿ボディ裏側に付いている六角穴付止めねじを緩めてください。(Fig.2)
- 4) ポンプに付属している塩ビサクシオンチューブを取付け、ポンプを受皿ボディに挿入し、止めねじで固定してください。(Fig.1)
- 5) ドラムの喚気口のプラグは必ず取外してください。(Fig.1)
- 6) ポンプにエアを供給する時は、エアバルブが閉じていることを確認してから接続してください。

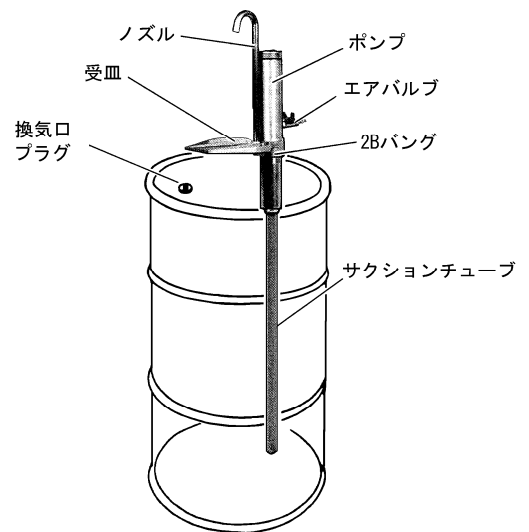


Fig.1

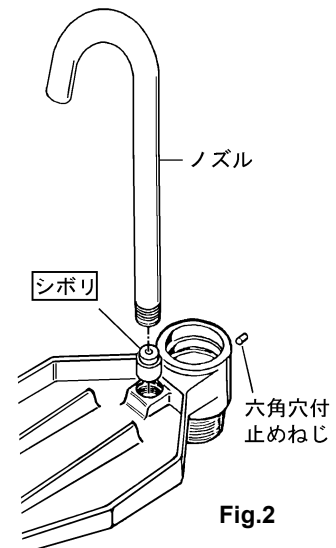


Fig.2

3. 使用方法

 警告	
	- 使用の際、静電気のスパークによって人体がショックを受けたり、火災・爆発に伴う人身事故が発生することがあります。必ずアース線により使用環境に従いアースを確実に実施してください。

 注意	
	- 供給エア圧力は、必ず 0.7MPa 以下でご使用ください。元圧が 0.7MPa 以上ある場合は、レギュレーターにて 0.7MPa 以下に調整してください。
	- 作業終了後や長時間使用しない場合は、必ず供給エアを切ってください。

- 1) 受皿にオイルジョッキを置きエアバルブを徐々に開いて吐出させてください。

<NOTE>

- ・オイルの吐出量が多い時は、レギュレーターによって圧力を下げてください。

- 2) ポンプが空打ちしましたら、ドラム缶内オイルが空になった為ですので、新しいドラム缶と交換してください。

4. 保守・点検

4.1 故障の点検とその対策

状況	原因	点検内容・対策
・ポンプが作動しない	・エアが正常に供給されているか ・配管途中にあるバルブが閉まっているか ↓ (下ポンプを分離し、エアモーターのみで作動させる) → 動けば、材料ポンプの故障 → 動かなければ、エアモーターの故障	圧力チェック (0.2~0.7MPa) サービスを依頼 サービスを依頼
・ポンプが止まらない	・出口バルブ（ガン）に洩れが無い ・ドラム缶のオイルが空になっていないか ↓ → 材料ポンプの故障	補充、または交換 サービスを依頼
・ポンプは作動するが オイルが出ない	・ドラム缶のオイルが空になっていないか ↓ → 材料ポンプの故障	補充、または交換 サービスを依頼
・ポンプは作動するが 圧力・流量が不足	・供給エアが低下していないか ↓ → 材料ポンプの故障 (バルブ・シート面の磨耗、ゴミのつまり)	圧力調整 (最大0.7MPa) サービスを依頼

4.2 保守・点検

⚠ 注意



- 注油の前には必ずエア供給元のバルブを閉じてポンプのエアバルブを開き、本機内の圧力を開放してから行ってください。

■注油

ポンプのルブリケーションのため、10日に一回程度、潤滑油の注入を行ってください。潤滑油の注入は以下に行います。

- 1) ポンプのエアバルブから口金を取外します。
- 2) エア供給口に潤滑油を数滴（約0.5mL）注入します。(Fig.3)
潤滑油はタービン油 ISO（VG-32）、または相当品をご使用ください。

■保守・点検

ポンプのパッキン類は、使用により摩耗しますので定期的に点検し、傷・漏れなどがある場合は早めに交換してください。1年に1回点検・交換が必要です。

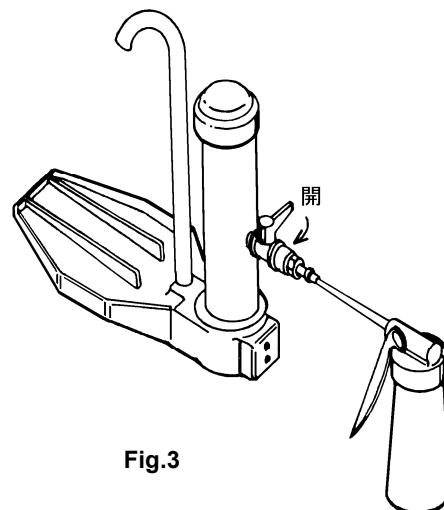


Fig.3

5. 分解・組立

※ポンプの作動が不良・停止の状態になった場合は、不用意にポンプを分解せず「4.1 故障の点検とその対策」の項を参照して、その状況をよく判断し必要箇所のみ分解してください。

※エアモーターは、直接材料に触れることなく故障は極めて少なく、分解の必要はありません。万一、分解の必要が生じた場合は、弊社サービス店にご依頼ください。

警告



－ ガソリンは高揮発性の燃料です。ポンプの洗浄などには絶対使わないでください。引火・爆発の恐れがあります。



－ 部品を洗浄の際、アルミ、銅合金、鉄などを腐食するような液体は使用しないでください。



－ 本機の分解・点検は、必ず供給エアを止めて出口バルブを開き、本機内の圧力を開放してから行ってください。

■下ポンプの分解

- 1) ポンプへの供給エアを止めて、口金を取外してください。
- 2) 受皿ボディ裏側にある六角穴付止めねじを緩めてポンプを引抜いてください。(Fig.2)
- 3) エアバルブを取外してください。
- 4) サクションチューブをバイスに固定してエアシリンダーをパイプレンチでねじ戻して取外してください。(Fig.4)

<NOTE>

・エアシリンダーは、傷がつきやすいので絶対バイスに加えないでください。

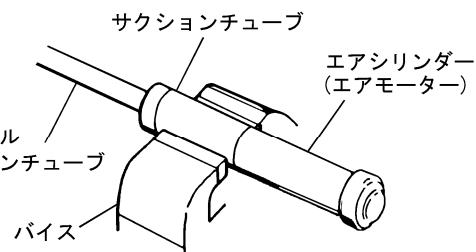


Fig.4

- 5) サクションチューブ及びエアシリンダーを分解しますと、プランジャーに接続したインテークバルブ Assy とエアピストン Assy が取外せます。(Fig.5)

- 6) インテークバルブ Assy の分解：

六角穴付ボルトを外し、インテークバルブ Assy を洗浄し、パッキンの摩耗度合を点検します。傷、摩耗などがあれば新品と交換してください。(Y-型パッキンのリップの上下を間違えないように挿入のこと) (Fig.6.1, Fig.6.2)

- 7) フートバルブをサクションチューブから取外し緩み止めナットを緩め、分解した各部品を洗浄・点検し、傷、摩耗などがあれば新品と交換してください。(Fig.7)

- 8) 組立は、分解と逆の順序で行ってください。

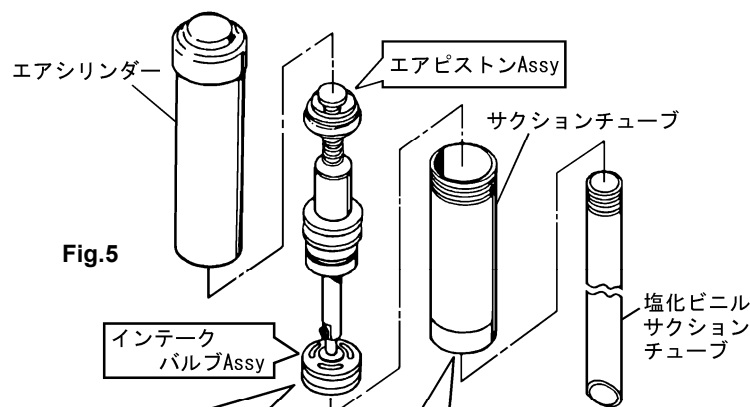


Fig.5

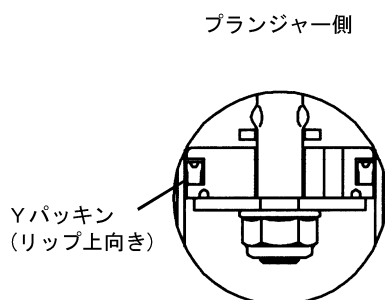


Fig.6.1

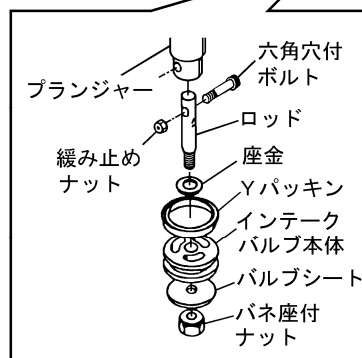


Fig.6.2

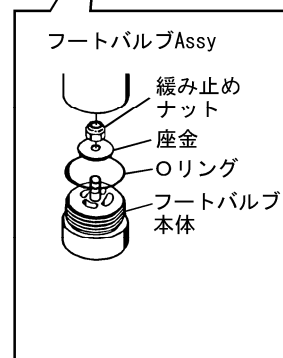


Fig.7

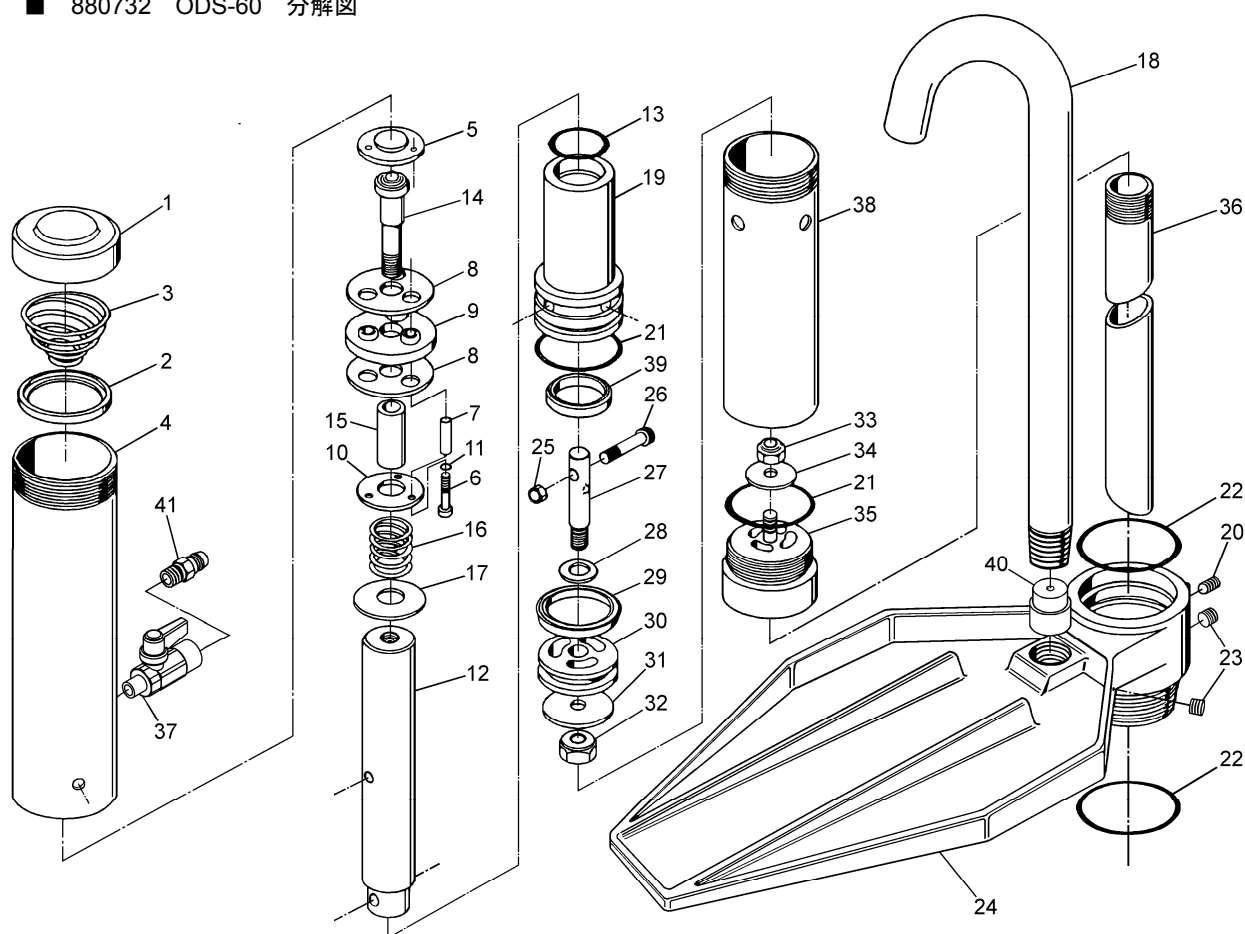
<NOTE>

・エアモーターの分解

エアモーター部 (エアピストン Assy) は、組立の際の調整が難しいため、エアモーターの故障と判断した場合は、お買い上げの販売店、または弊社営業所に修理を依頼してください。

6. 部品分解図・パーツリスト

■ 880732 ODS-60 分解図



■ パーツリスト

No.	部品番号	部品名称	員数
1	705194	キャップ	1
2	770495	パッキン	1
3	705195	スプリング	1
4	712051	エアシリンダー	1
5	795017	バルブシート	1
6	619046	六角穴付ボルト	3
7	704594	スペーサー	3
8	704959	座金	2
9	770486	パッキン	1
10	704599	バルブプレート	1
11	702237	座金	3
12	712048	ブランジャー	1
13	640029	Oリング	1
14	704958	バルブユニオン	1
15	704598	カラー	1
16	704957	スプリング	1
17	705198	座金	1
18	712046	ノズル	1
19	712050	ハウジング	1
20	610025	六角穴付止めねじ	1
21	640134	Oリング	2

No.	部品番号	部品名称	員数
22	640304	Oリング	2
23	634360	六角穴付プラグ	2
24	712052	ボディ	1
25	682703	緩み止めナット	1
26	619107	六角穴付ボルト	1
27	710989	ロッド	1
28	631015	平座金	1
29	683052	パッキン	1
30	802924	バルブ組立	1
31	710912	バルブシート	1
32	683270	緩み止めナット	1
33	683044	緩み止めナット	1
34	712044	バルブシート	1
35	712047	アダプター	1
36	771752	サクシオンパイプ	1
37	683414	バルブ	1
38	712049	サクシオンチューブ	1
39	683428	パッキン	1
40	712069	絞り	1
41	680743	口金	1

7. 主要諸元

7.1 仕様

製 品	全 高	質 量	吐出量	付 属 品
880732 ODS-60	1228 mm	3. 3kg	※10 L/min	683414 エアバルブ.....1 680743 口金(PS-20PM).....1

※印は、下記条件による値

使用空気圧:0.5MPa

使用油 :昭和シェル ビトリアオイル #32

油温 :20℃

(712069 シボリ を使用した場合は吐出量が減少します。)

8. 不具合内容 FAX シート

不具合・故障の原因を追求するために、及び修理サービスの充実を図るために必要となりますのでお手数ですが下記のFAXシートに必要事項を記入して、弊社営業所宛てに送信してください。

不具合内容 FAX シート	
フリガナ 貴社名 _____	フリガナ ご担当者名 _____
フリガナ ご住所 _____ _____	ご所属 _____ ご連絡先 Tel. () _____ - _____ Fax. () _____ - _____
製品名	型式
使用期間 20 年 月 ～ 年 月	SERIAL No. (LOT No.)
運転頻度 ☐ 連続 ☐ 断続 hr / 日・週・月	購入年月日 購入販売店
機器の状態（不具合の内容）	

9. 保証規定

本機は、厳重な検査に合格した後、皆様のお手元にお届けしております。取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書に従って正常なご使用をされたにも拘わらず保証期間内に万一、弊社の責任に基づく故障が起きた場合には、納入日より12か月を保証期間として、当該品を無償にて欠陥部品の手直し、修理、または新品と交換させていただきます。

ただし、二次的に発生する損失の補償及び次の場合に該当する故障についての保証は対象外とさせていただきます。

1.保証期間：製品を納入申し上げた日より起算して12か月間といたします。

2.保証内容：期間中に、本機を構成する純正部品の材料、もしくは製造上の欠陥が表われ、弊社がこれを認めた場合、修復費用は全額負担いたします。

3.適用除外：期間中であっても、下記の場合には適用いたしません。

- (1) 純正部品以外の部品を使用された場合に発生した故障。
- (2) 使用・取扱上の過失による故障、保管・保安上の手入れ不十分が原因による故障。
- (3) 製品の構成部品を腐食・膨潤、または溶解する様な液剤を使用して生じた故障。
- (4) 弊社、または弊社の販売店・指定サービス店以外の手によって分解修理がなされた場合。
- (5) 製品に弊社以外の手によって改造・変更が加えられ、これが原因で発生した故障。
- (6) パッキン、Oリングなどの消耗部品の摩耗。
- (7) お買上後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷。
- (8) 火災、地震、水害、及びその他天災、地変などの不可抗力による故障及び損傷。
- (9) 不純物や過度のドレンが混入した圧縮エアを動力として使用したり、指定の圧縮エア以外の気体・液体を動力として使用した場合に発生した故障。
- (10) 過度に摩耗性を有する材料や、本機に不適當な油脂を使用した場合の故障。
- (11) 日本国外においてご使用の場合。

尚、本製品及びその付属品に使用されているゴム部品等、あらゆる自然損耗する部品、消耗部品ならびに下記部品については、保証の適用から除外させていただきます。

・ホース類 ・各種パッキン類 ・コード類

4.補修部品：補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年とさせていただきます。製造打ち切り後5年を経過したものにつきましては、供給いたしかねる場合もございますので、何卒ご了承ください。

MEMO.

製品に対するお問い合わせは、下記営業所をお願い致します。

株式会社ヤマダコーポレーション

本社・営業部	〒143-8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号	TEL (03) 3777-4101 (代)	FAX (03) 3777-3328
札幌営業所	〒062-0002 札幌市豊平区美園二条 6 丁目 3 番 16 号	TEL (011) 821-0630 (代)	FAX (011) 821-0949
仙台営業所	〒981-3137 宮城県仙台市泉区大沢 2 丁目 2 番 3 号	TEL (022) 343-9410 (代)	FAX (022) 343-9411
東京営業所	〒143-8504 東京都大田区南馬込 1 丁目 1 番 3 号	TEL (03) 3777-3171 (代)	FAX (03) 3777-6770
名古屋営業所	〒463-0052 名古屋市守山区小幡宮ノ腰 7 番 38 号	TEL (052) 795-0222 (代)	FAX (052) 795-0444
大阪営業所	〒537-0025 大阪市東成区中道 3 丁目 15 番 2 号	TEL (06) 6971-5301 (代)	FAX (06) 6974-0497
広島営業所	〒731-5128 広島市佐伯区五日市中央 3 丁目 3 番 9 号	TEL (082) 275-5852 (代)	FAX (082) 275-5853
福岡営業所	〒812-0888 福岡市博多区板付 5 丁目 18 番 14 号	TEL (092) 581-5477 (代)	FAX (092) 581-6524

YAMADA AMERICA Inc.	955 E.ALGONQUIN RD., ARLINGTON HEIGHTS, IL 60005,USA
YAMADA EUROPE B.V	Aquamarijnstraat 50-7554 NS Hengelo(O), The Netherlands
雅玛达(上海)泵业贸易有限公司	上海市浦东新区金桥路 2690 弄 48 号 7 号门

TEL 1-847-631-9200
TEL 31-0-74-242-2032
TEL 86-21-3895-3699

201309 900308